

初めてのヒマラヤ

塚本 稔

◎日程 2017年10月3日～10月18日 ◎メンバー 某近所山の会他のメンバー5人

シリウスの皆さんは海外の山は何度も経験されていますが、私は昨年初めて海外の山に行きました。来年は後期高齢者になり残された登山寿命が短くなって来た現在、何処に行くか考えた時、以前写真で見たネパールの高く聳える白い峰々と青く透き通った空を思い出し、ヒマラヤに心惹かれました。皆様に様子を聞きますと荷物はポーターが持ってくれるので大名旅行の様なものと言われ、其の気になり、今回はネパールのエベレスト街道からカラパタールに登りエベレストを見に行く事にしました。

10月3日

カトマンズに12時25分無事着陸、やっとネパールに着いたが期待と不安で胸一杯。預けた荷物を全員が無事受け取ると、ツアー会社のラクバさんがワンボックス車で迎えに来ていた。空港内もそうであつたが駐車場は酷いものであり、最初から度肝を抜かれた。道路に出て又ビックリである。道路は悪く埃が立ち、車・バイク・自転車・人で混雑している。車は日本で言うポンコツ車が多く、交通ルールが有るのか無いのか分からない程だが事故は目撃しなかった。時間はかかったが無事「ホテルフジ」に着き歓迎のレイをかけてもらい二人部屋に落ち着く。

フロントの方は殆ど日本語を話せるので助かる。少し休憩の後、今回のトレッキングに同行するガイドの二人を紹介され、彼等の案内で市内のタメル地区に行きルピーに両替してから商店街で明日からのトレッキングに必要な物やお土産を買う。

一度ホテルに戻り明日からのトレッキングに備えて荷造りをする。不要な物は翌朝ホテルに預け、行動に必要な物はザックに、他はダッフルバッグに入れポーターが運ぶ。夕飯はエージェント主催の歓迎会で「ターメル・ハウス」に行くが、飲めないビールを空腹に少し飲んだら気分が悪くなり、エージェントの社長にホテルまでタクシーで送って貰う失態を初日にしてしまった。

10月4日

[カトマンズ空港⇒ルクラ空港⇒昼飯後ルクラ出発 12:15→14:20 休憩→16:00 パクディン着、ロッジ泊]

朝5時半に起きたが体調は普通の状態である。6時半に食事を食べずホテルを出発したので、カトマンズ空港の待合室で渡された弁当を食べる。ルクラへの飛行機は昨日まで4日間天候不順で飛べなかった為に今日の待合室はごった返していた。

飛行機は小さく15人程しか乗れない。預け荷物のダッフルバッグが重量オーバーの為に次の便に回されてしまった。全員定刻に機上の人となったが、待機線の途中で止まり滑走路に中々着かない。大蛇が滑走路を横断中で約1時間遅れて離陸し、ルクラ空港の短い坂道滑走路に無事着陸した。

10月5日

[パクディン 8時発→10:40 サガルマータ国立公園入園料徴収所通過→11:15 ブッタロッジ昼飯 11:45→

15:40 検問所通過→16:12 ナムチェ着、ロッジ泊]

パクディンから一時間ほど歩くとタメルク峰(6623m)が大きく見えてくる。



(綺麗なタメルク峰が大きく見えてきた)

2ヶ所長い吊橋を通過すると、ドゥドーコシ川にかかる新旧の二重吊橋が見える平坦地で休憩する。下の橋は老朽化の為使われてない。ここから標高差 600m ある坂道を登り、8時間近く掛かってやっとナムチェの町外れに着く。ナムチェは大きい集落で、登山用品や土産物を売る店が多く並んでいる。

宿は町外れの高所に有るので長い歩き難い階段を登らないと行けない。宿に着くと荷物を部屋に置き登山用品を見に行く仲間と一緒に高度順応訓練だと思い長い階段を降りて行く。スポーツ用品を扱う店には以前大阪に住んで居たという日本語を話す中年の女性店員が働いていた。



(ナムチェへの途中、ドゥドーコシ川に掛かる新旧二重の吊橋ラジャ・ブリッジ)

10月6日

[ナムチェ 7:55 発→9:00 シャンボチェ
飛行場跡→10:00 エベレストビューホテル
10:20→11:25 クムジュンの仏教寺院見学、
イエティの頭部 11:35→11:45 クンピーラ
ガーデンで昼飯 13:10→13:50 白い仏塔の
建つ峠を通過→14:40 ナムチェに戻る。]

今日は高度順応の為、宿に連泊するので必要最小限の荷物を持ち、シャンボチェに向かい出発した。シャンボチェには広く長い滑走路を作り完成間際で中止になった飛行場跡が有る。現在はヘリポートやゾッキョ等の放牧に使われている。

ルクラの飛行場が狭いのでここに移転するための工事が完成間際になったが、完成するとルクラからナムチェまで歩いて来ていた客が途中の店やロッジに寄らず素通りするので死活問題と反対され、中止になったらしい。

此处を横切り草原を登って行くと平坦で歩きやすいトレッキング道に出る。此の道からはローツェやアマダムラムが良く見える。1時間程歩くと有名なエベレストビューホテルに着く。フロントを通り抜けるとテラスに出るが、トレッキング客が大勢居てテーブルは空いてない。エベレストは雲に隠れているので、写真を撮るには雲と人間が退くのを待つしか無い。雲が切れ初めてエベレストが見えたので写真を撮るが、根気よく粘らないともっと良い写真は撮れない。



(ナムチェバザールの集落を俯瞰)

(エベレストとローツェ⇒)



(←奇峰アマダブラム)

混んでいてお茶を飲む時間もないので、クムジュンに向かい30分程下ると村に着く。此处では牛糞を団子にして平たく伸ばし、大きな煎餅のように作り天日干しにして燃料に使っている。北端に有る仏教寺院に行くと、イエティの頭部と信じられている物がショーケースに飾られていた。

村外れのクンビーラガーデンでゆっくり昼飯を食べ、祭りで休みになったヒラリー・スクールを左に見ながら、経文の刻まれたマニ石に沿って行くと村の出入り口を示す門が有る。

そこから緩やかに峠に向かって登っていくと白い仏塔が有り、峠を越えるとシャンボチェ飛行場跡の西側を横切る。傍らでは十数名のポーター達がヘリから降ろされたロッジで使用する生鮮食品等を点検しながら、割れた卵をはじき良い物だけに選り分けていた。ここから40分位でナムチェの宿に戻った。

10月7日

[ナムチェ 7時出発→12:50 タンボチェで昼飯 13:50→14:20 デボチェ着、パラダイスロッジ泊]

宿を7時に出発し8時頃からの4時間はエベレストが見える素晴らしい道であった。8時半頃に崩れた土砂を片付けて道普請をしている若者に会う。ボランティアかと思ったが、少し行くとお爺さんが募金箱に寄付金を集めて、頂いた寄付金から彼等に日当を払っていた。

ブンキテンガからの標高差 600m を登りきるとタンボチェに着き、峠には仏教寺院が有り、近くのレストランで遅い昼飯を食べる。此处で泊まる予定だったがロッジが5軒と少なく、各ロッジ共満室なのでデボチェに行き泊まる。

10月8日

[デボチェ 6:50 出発→11:50 峠を通過→12:30 ペリチェ着、昼飯後ヒマラヤンホテル泊]

メンバーの一人の体調悪く近くの診療所に行き、欧米の女医さんに診てもらおうと肺気腫と診断され酸素吸入を受ける。ヘリコプターで即下山しろと言われるが当日はヘリの手配ができず、明朝ヘリに来て貰うことにして、診療所には入院施設が無い為ホテルに宿泊して貰う。

(残月と聖山クーンビラ)



10月9日

[9:30 ペリチェ出発→11:40 トクラ昼飯 12:35→14:25 ロブチェ着、シェルパロッジ泊]



(イエティの頭部?)

レスキューヘリ待ちのガイド一人を残して、9時30分出発。ロブチェまで登ってロッジ泊。



(クスモカーンの残月)

10月10日

[7:30 ロブチェ出発→11:05 ゴラクシェプ着、ヒマラヤンロッジ泊]

ゴラクシェプに近づくにしたがいプモリが大きく見えてきた。エベレストBCに行く予定でいたが皆疲れていたので行かずに、休養と高度順応にして付近を散策。高い雪山からか？風花（小雪）が舞って来たが、翌日雪が降るとは想像もしなかった。

(綺麗なプモリ峰 7115m 拡大写真は P.1 巻頭の写真を参照⇒)



(ゴラクシェプ付近からタボチェ 6495m (左) とチョラツェ 6335m を振り返る)

10月11日

[4:55 ロッジ出発→7:45 初雪のカラパタール山頂 7:55→9:20 ロッジ着で朝飯 10:35→13:30 ロブチェ昼飯 14:40→16:15 トクラ着、ロッジ泊]

雨具を着て5時近くヘッドライトを点けて、小雪の降る中を出発するが途中から雪が積もってきた。カラパタール山頂は3～5センチ近く積もっていた。時間は倍近くかかったと思う。初雪の中を歩いて嬉しいが、エベレストが見えないのが残念だった。ロッジに戻り朝飯を食べてから下山にかかる。



(カラパタール山頂直下の氷河湖)



(カラパタール山頂 5,550m)

10月12日

[7:10 トクラ発→11:05 休憩 11:20→12:25 テンボジェ昼飯 13:20→16:25 プンキタンガ着、ロッジ泊]

予定のタンボチェが満室でプンキタンガのロッジが2部屋空いていたので泊まれたが、ガイドは庭に張られたテントに泊まる。宿の前の岸壁に野生のヤギが数頭いるのを目の良いガイドが見つける。



(打って変わった好天の朝、昨夜泊まったトクラのロッジを下る。後方はタボチェとチョラツェ)



(荷を運ぶゾッキョ。後方は左：カンテガ 6783m、右：タマセルク 6618m)

10月13日

[6:55 分ブンキタンガ発→10:30 ナムチェ 12:00→15:10 モンジョ着、ロッジ泊]

行きに泊まったナムチェのロッジに昼飯を食べに寄ったが、1時間以上待たされる。今日はナムチェの市場が開かれる日なので見学して行くが、何も買う物はなかった。



(鯉幟が泳ぐブンキタンガのロッジ)



(ナムチェバザールの市場風景)



(ナムチェの石畳道)



(21歳と17歳のポーター)

11月14日

[7:40 モンジョ発→9:30 パクディン→15:10 ルクラ着、
エベレスト・プラザ泊]

客が少なく部屋が空いていたので、久しぶりに一人一部屋を与えられる。そして有料だが温かいシャワーを浴びて、頭も身も心も洗えたので気持ちが良かった。

夕飯の時お礼のお別れ会をして、チップと山で使い不要になった物を集めてこのトレッキングでお世話になった現地の4人にあげる。ご馳走も出たが下痢のため何も食べなかった。

10月15日

[ルクラ空港7:00発→7:40 カトマンズ空港着
→フジホテル泊]

朝食後（食べなかったが）市内見学と土産物屋に行くが、山での疲れと違い、空気も悪く凄く疲れた。夕食に行かず、お湯が有るので甘酒を作り飲む。

10月16日

市内のダルバール広場や町を見学して回ると、2015年4月の地震で壊れた家屋や寺院、ホテル等の修復工事が早朝から夜までやっているのは、日本では考えられない事であるが、それだけ工事を急いでいるのであろう。

夜はエージェントの招待でネパールダンスを見ながらのディナーだったが、腹具合の悪かった私はオカユしか食べられなかったのが残念であった。



(トレッキング無事終了)



(ルクラ空港からカトマンズへ)



(倒れないように補強して修復中の寺院)



(壊れたままの煙突)

最期に、今回の現地エージェント“ファミリーアルパイントレック”のスタッフや、同行のガイドとポーターは日本語が分り親切で良かった（ガイドは、ドルチェさんとダワさん）。

カトマンズの町は色々あるが、エベレスト街道に入ると思っていたより歩きやすく、ストックはカラパタール登山時にしか使用しなかった。エベレスト街道の動物の糞は気にならなくなった。

ロッジは二人部屋で良かったが、洗面所やトイレの水が夜は止まり不便であった（日本でもある）。

心身ともに健康な人は太って帰ってくる。私は下痢で痩せたが、高山病にもならず元気で歩けた。

トクラから上は空気・高い山・青い空が気持ち良く、一部の悪いことを打ち消してくれる。

それでも、帰国すると日本に生まれて良かったな～と思う。



（カトマンズの街角で）

（完）